

事務事業評価表

担当課	産業観光部	農林水産課	庶務・林業振興係	事務事業No.	16122		
事務事業名	農業総務一般経費			会計	一般会計		
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち			款	6	項	1
施策目標	地域間交流の促進						
後期計画掲載頁	47	頁	個別計画	都市と農村の交流			47
事業期間	平成24年	～	平成28年	根拠法令・要綱等			

事業の概要
 1、中綱湖へら鮒釣り大会を通じ、釣り客をはじめ多くの方々へ大町市をPRし、グリーン・ツーリズム事業の振興を図る。 2、農業体験を伴う修学旅行の需要が多くあり、国営公園を拠点とした農家民宿事業に取り組んだ。

事業の目的
 1、グリーン・ツーリズム事業を推進し、地域の活性化を図る。
 2、受け入れ農家の生きがい、副収入にもつながる。また、市内宿泊施設の利用も増えて、経済効果も見込まれる。

事業内容
 1、中綱湖へら鮒釣り大会実行委員会へ負担金40万円を支出し、大会の開催援助をしている。
 2、受け入れ農家の保健所申請手数料23,000円の半額を補助している。

事業費	財源内訳	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		総事業費（決算額）	1,457 千円	1,552 千円	1,456 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円	
	県支出金	千円	千円	千円	
	起債	千円	千円	千円	
	その他財源	千円	千円	千円	
	一般財源	1,457 千円	1,552 千円	1,456 千円	

活動指標	指標名	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
			実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
①	釣り大会開催	回	1	1	1	1	100.0%	1
②	農家民宿開業数	軒	-	-	8	20	40.0%	30
③								

成果指標	指標名	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
			実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
①	参加者数	人	118	100	84	100	84.0%	100
②	農家民宿受入数（延べ数）	人	-	-	63	210	30.0%	500
③								
2. 数値で表せない効果 (指標)								

【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）
 実行委員会事務局を、平成19年度から中綱地域農業集団組合へ引き継ぎ継続中である。天候にも左右されるが、年々参加者数の減少がみられ今後について検討が必要と考えられる。農家民宿事業については、受け入れ農家の開拓に苦慮し、方法等を再検討する必要がある。

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
評価	普通	普通	普通	重複なし	普通	改善の余地あり
点数	2	2	3	3	2	2
評価	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）				
	今後の方向性	特に子供たちの利用が多い上原温水路のトイレの管理、多目的トイレへのベビーシートの設置など利用する市民へのサービスにつながっている。市観光振興の大きな要素である仁科三湖をPRする面でも事業の継続は必要と考える。しかし、平成24年度で12回目の開催であるが、事業開始当初170人程いた参加者は年々減少しており、集客方法の検討が必要である。また、実行委員会の経費面においては、協賛者の負担金が年々減少しており、市負担金が開催費用の主となっている。この点においても検討が必要と考えられる。平成25年度からは、国営公園を起点とした都市部の修学旅行生(教育旅行)を受け入れるべく、常盤地区を中心にして農家を募り、農家民宿事業を実施した。1泊は市内宿泊施設利用が見込まれることから、農家の皆さんの活力向上、民間施設の経済効果が見込まれる。				
	評価点合計	14 / 18				

事務事業評価表

担当課	産業観光部	農林水産課	農業振興係	事務事業No.	16131		
事務事業名	農業振興一般経費			会計	一般会計		
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち			款	6	項	1
施策目標	農地集約化と特色ある農業への転換						
後期計画掲載頁	58	頁	個別計画				頁
事業期間	平成	年	～	平成	年	根拠法令・要綱等	

事業の概要
 大町で生産されたものを大町で消費する地産地消を市民に広く普及啓発することにより、生産者と消費者との交流を図り、地元食材の消費拡大を推進する。

事業の目的
 消費者に地元食材に対する強い安心感を与え、観光事業や外食事業に積極的に地場産品を取り扱うよう働きかける。それには地産地消を推進して、地域の農林水産業を活性化させ、地域の活力を増進させる取り組みを目指す。

事業内容
 地産地消事業実行委員会主催事業
 ・「ぐるっとそば処スタンプラリー」
 ・「大町の食材を楽しむ会」

事業費	年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度
	総事業費（決算額）		348千円	345千円	332千円
	財源内訳	国庫支出金	千円	千円	千円
		県支出金	千円	千円	千円
		起債	千円	千円	千円
		その他財源	千円	千円	千円
		一般財源	348千円	345千円	332千円

活動指標			平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
	指標名		実績値	実績値	実績値	(H25)	(%)	(H26)
	①	スタンプラリー	回	1	1	1	100.0%	1
	②	食材を楽しむ会	回	1	1	1	100.0%	1
	③							

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値	
	指標名		実績値	実績値	実績値	(H25)	(%)	(H26)	
	①	スタンプラリー参加者	人	562	431	415	600	69.2%	500
	②	食材を楽しむ会参加者	人	72	69	56	60	93.3%	60
	③								
2. 数値で表せない効果 (指標)									

【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）
 スタンプラリーの参加者は減少しているものの、市のイベントとしては定着している。
 食材を楽しむ会は、毎年趣向を変えながら継続している。

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
	評価	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	点数	普通	普通	普通	重複なし	普通	適正である
		2	2	2	3	2	3
今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）					
	継続	○そば処スタンプラリーは県内外から好評をいただいている、そば処大町のPRになっており継続して取り組みたい。 ○食材を楽しむ会については、平成18年度から実施しているが毎回実行委員会で検討しながら趣向をかえて実施している。今後も今までのスタイルにこだわらず地域食材の情報発信に有効なイベントとなるよう検討していきたい。					
	評価点合計	14 / 18					

事務事業評価表

担当課	産業観光部	農林水産課	農業推進支援係	事務事業No.	16132				
事務事業名	農業振興助成費			会計	一般会計				
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち			款	6	項	1	目	3
施策目標	農地集約化と特色ある農業への転換								
後期計画掲載頁	58		頁	個別計画					頁
事業期間	平成		年	～	平成		年	根拠法令・要綱等	

事業の概要
農業振興に係る総合的な支援事業

事業の目的
農業振興のための農業者への支援

事業内容
委託料：学童農園設置・栽培技術モデル展示ほ設置
負担金：農業共済関係・農業振興協議会・農業技術者連絡協議会
補助金：経営所得安定対策・農作業受託体制強化支援・環境保全型農業への支援
青年就農給付金・農地集積協力金・強い農業づくり交付金

事業費	財源内訳	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		総事業費（決算額）	15,274 千円	18,386 千円	48,723 千円
	国庫支出金				
	県支出金	225 千円	5,755 千円	36,866 千円	
	起債				
	その他財源				
	一般財源	15,049 千円	12,631 千円	11,857 千円	

活動指標	指標名	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
			実績値	実績値	実績値	(H25)	(%)	(H26)
①	補助金交付対象者	人	53	52	62	55	112.7%	65
②								
③								

成果指標	指標名	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
			実績値	実績値	実績値	(H25)	(%)	(H26)
①						-	-	
②								
③								

2. 数値で表せない効果
補助金により農業の機械作業受託体制の強化や環境保全型農業が推進された。経営所得安定対策については適切な事務処理により交付がなされた。

【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
評価	高い	高い	高い	重複なし	高い	適正である
点数	3	3	3	3	3	3
評価	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）				
	今後の方向性	継続 評価点合計 18 / 18 国の補助制度は毎年変更されてくるので、これに対応しながら市単独の助成制度で補完することにより農業振興を図る。				

事務事業評価表

担当課	産業観光部	農林水産課	農業振興係	事務事業No.	16133		
事務事業名	農業経営基盤強化推進事業			会計	一般会計		
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち			款	6	項	1
施 策 目 標	農地集約化と特色ある農業への転換						
後期計画掲載頁	58	頁	個別計画				頁
事業期間	平成	年	～	平成	年	根拠法令・要綱等	

事業の概要	認定農業者が農業経営基盤強化資金等の借入に係る利子への補助事業								
事業の目的	農地取得を含む施設整備、長期運転資金等の借入利子の負担を軽減し、農業経営の改善を図る。								
事業内容	農業経営基盤強化資金（スーパーL）と農業近代化資金の融資残額に対して一定の率を乗じて補助金額を決定する。市と県の負担割合は1/2である。								
事業費	年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		
	総事業費（決算額）		1,215千円		1,066千円		961千円		
	財源内訳	国庫支出金		千円		千円		千円	
		県支出金		528千円		493千円		411千円	
		起債		千円		千円		千円	
		その他財源		千円		千円		千円	
		一般財源		687千円		573千円		550千円	
活動指標	指標名		単位	平成23年度 実績値	平成24年度 実績値	平成25年度 実績値	目標値 (H25)	達成率 (%)	次年度目標値 (H26)
	①	スーパーL助成件数	件	11	11	10	11	90.9%	8
	②	近代化利子補給件数	件	10	10	12	9	133.3%	11
	③								
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値	
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	(H25)	(%)	(H26)
	①						-	-	
	②						-	-	
2. 数値で表せない効果		(指標) 利子補給や助成による設備投資を支援することで経営規模拡大・経営の安定が図られた。							
【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由									

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
	評価	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	点数	低い	低い	低い	一部重複	普通	改善の余地あり
		1	1	1	2	2	2
今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）					
	縮小	県は平成26年度から新規分については助成は行わない方針である。本市としても県と同様に扱いたい。					
	評価点合計	理由：スーパーLに関しては人・農地プラン関連で5年間無利子となることや助成期間が非常に長期になることから補助金として適さない。また、金融機関の金利の低下などがあるため。					
	9	18					

事務事業評価表

担当課	産業観光部	農林水産課	農業振興係	事務事業No.	16134		
事務事業名	農地流動化推進事業			会計	一般会計		
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち			款	6	項	1
施 策 目 標	農地集約化と特色ある農業への転換						
後期計画掲載頁	58	頁	個別計画				頁
事業期間	平成	年	～	平成	年	根拠法令・要綱等 大田市農地流動化担い手育成奨励金交付要綱	

事業の概要
 農業の担い手である認定農業者への農地集積に対し、集積した面積に応じて奨励金を交付。

事業の目的
 認定農業者へ農地集積することにより、農地流動化を推進し、農地の有効利用と担い手農家を育成するため、農業経営の規模拡大を図りやすくし、効率的・安定的な農業経営を目指す。

事業内容
 新規に農地の利用権の設定を受けた認定農業者に面積に応じて奨励金を交付する。10a当たり6,000円（10a未満は10a当たり8,000円）

事業費	財源内訳	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		総事業費（決算額）	2,400千円	2,509千円	2,297千円
	国庫支出金	千円	千円	千円	
	県支出金	千円	千円	千円	
	起債	千円	千円	千円	
	その他財源	千円	千円	千円	
	一般財源	2,400千円	2,509千円	2,297千円	

活動指標	指標名	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
			実績値	実績値	実績値	(H25)	(%)	(H26)
①	奨励金交付件数	件	28	25	24	25	96.0%	25
②								
③								

成果指標	指標名	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
			実績値	実績値	実績値	(H25)	(%)	(H26)
①	流動化面積	a	3,340	3,415	2,903	3,500	82.9%	3,300
②								
③								

2. 数値で表せない効果
 (指標)

【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
評価	高い	普通	高い	重複なし	高い	適正である
点数	3	2	3	3	3	3
評価	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）				
	今後の方向性	継続 評価点合計 17 / 18 国の規模拡大加算事業が25年度で終了するため、引き続き担い手である認定農業者の規模拡大を支援するため本事業を継続する。				

事務事業評価表

担当課	産業観光部	農林水産課	農業振興係	事務事業No.	16136		
事務事業名	中山間地域等直接支払事業			会計	一般会計		
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち			款	6	項	1
施策目標	農地集約化と特色ある農業への転換						
後期計画掲載頁	58	頁	個別計画				
事業期間	平成13年	～	平成26年	根拠法令・要綱等 大町市中山間地域等直接支払事業補助金交付要綱			

事業の概要	農業生産条件が不利で耕作放棄のおそれ大きい中山間地域で、市と協定を結んで共同作業等を行う集落に交付金を交付する事業								
事業の目的	中山間地域において農地の持つ国土の保全、水源の涵養、良好な景観形成等の多面的機能の確保と増進を図り、耕作放棄地の解消と発生防止に努め、将来にわたって持続的な農業生産活動の維持を目指す。								
事業内容	法指定： 国1/2、県1/4、市1/4負担 八坂地区（8集落）、美麻地区（5集落） 特認： 国1/3、県1/3、市1/3負担 大町地区（4集落）								
事業費	年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		
	総事業費（決算額）		11,855千円		11,859千円		12,194千円		
	財源内訳	国庫支出金		千円		千円		千円	
		県支出金		8,361千円		8,375千円		8,603千円	
		起債		千円		千円		千円	
		その他財源		千円		千円		千円	
		一般財源		3,494千円		3,484千円		3,591千円	
活動指標	指標名		単位	平成23年度実績値	平成24年度実績値	平成25年度実績値	目標値(H25)	達成率(%)	次年度目標値(H26)
	①	実施団体数	集落数	17	17	17	17	100.0%	17
	②								
	③								
成果指標	1. 数値で表せる指標		単位	平成23年度実績値	平成24年度実績値	平成25年度実績値	目標値(H25)	達成率(%)	次年度目標値(H26)
	①	実施面積	a	8,052	8,086	8,086	8,086	100.0%	8,090
	②								
	③								
2. 数値で表せない効果		(指標)							
【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）									

評価	項目	必要性		有効性		効率性			
	評価	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化		
	点数	高い	普通	高い	重複なし	高い	適正である		
		3	2	3	3	3	3		
今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）							
	継続								
	評価点合計	現在第3期（平成22年度から平成26年度まで）を実施中である。耕作放棄地の解消や農地の多面的機能の確保と増進を図るため、この事業を継続したい。							
	17	18							

事務事業評価表

担当課	産業観光部	農林水産課	農業推進支援係	事務事業No.	16138
事務事業名	大田市21農業推進支援センター事業			会計	一般会計
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち			款	6 項 1 目 3
施策目標	農地集約化と特色ある農業への転換				
後期計画掲載頁		頁	個別計画		頁
事業期間	平成	年	～	平成	年
根拠法令・要綱等					

事業の概要
JA、県などと連携を取りながら、大田市地域農業再生協議会の事務局として、農業政策の推進を図る。

事業の目的
需要に即応した米づくりや、水田を活用した作物の生産振興に努めている。

事業内容
米の需給調整の実施を行い、米政策における経営所得安定対策の推進や、地域の特性に応じた水田農業の仕組みづくりに取り組んでいる。また、地域の担い手の育成や集落営農組織の活動支援を行っている。

事業費	財源内訳	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		総事業費（決算額）	4,984 千円	4,959 千円	4,818 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円	
	県支出金	千円	千円	千円	
	起債	千円	千円	千円	
	その他財源	千円	千円	千円	
	一般財源	4,984 千円	4,959 千円	4,818 千円	

活動指標	指標名	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
			実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
①	経営所得安定対策交付申請	回	1	1	1	1	100.0%	1
②								
③								

成果指標	指標名	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
			実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
①	経営所得安定対策交付申請	件	1,337	1,275	1,223	1,215	100.7%	1,215
②								
③								

2. 数値で表せない効果
(指標)

【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
評価	高い	高い	高い	重複なし	普通	適正である
点数	3	3	3	3	2	3
評価	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）				
	今後の方向性	引き続き、国や県などの補助事業の活用を図りながら、地域農業を守る体制を維持していく。				
	評価点合計	17 / 18				

事務事業評価表

担当課	産業観光部	農林水産課	農業振興係	事務事業No.	16139		
事務事業名	遊休農地荒廃防止事業			会計	一般会計		
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち			款	6	項	1
施策目標	農地集約化と特色ある農業への転換						
後期計画掲載頁	58	頁	個別計画				頁
事業期間	平成	年	～	平成	年	根拠法令・要綱等 農業等総合振興支援事業補助金交付要綱	

事業の概要	遊休農地の荒廃化を防止し、農地の有効利用転換を図るための事業に対して補助金を交付する。								
事業の目的	農業生産に対する障害及び景観悪化の要因となる遊休農地の解消を目指す。								
事業内容	生産団体や農業コミュニティ組織が遊休農地の解消及び維持管理を行うための経費に対して3/4以内（7万円/10a上限）の補助金を交付する。								
事業費	年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		
	総事業費（決算額）		952千円		270千円		760千円		
	財源内訳	国庫支出金		千円		千円		千円	
		県支出金		千円		千円		千円	
		起債		千円		千円		千円	
		その他財源		千円		千円		千円	
		一般財源		952千円		270千円		760千円	
活動指標	指標名		単位	平成23年度 実績値	平成24年度 実績値	平成25年度 実績値	目標値 (H25)	達成率 (%)	次年度目標値 (H26)
	①	取組数	件	3	1	2	4	50.0%	3
	②								
	③								
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値	
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	(H25)	(%)	(H26)
	①	面積	m ²	13,555	5,404	12,135	24,000	50.6%	20,000
	②								
2. 数値で表せない効果		(指標)							
【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）									

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
	評価	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	点数	高い	普通	普通	重複なし	高い	適正である
		3	2	2	3	3	3
今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）					
	継続						
	評価点合計	16 / 18 遊休農地として荒廃化が進んでいた個所もこの事業により農地に復元され、また、景観作物の作付などにより地域の環境保全に成果を上げている。					

事務事業評価表

担当課	産業観光部	農林水産課	農業推進支援係	事務事業No.	161310
事務事業名	園芸振興事業			会計	一般会計
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち			款	6 項 1 目 3
施策目標	農地集約化と特色ある農業への転換				
後期計画掲載頁		頁	個別計画		頁
事業期間	平成	年	～	平成	年
根拠法令・要綱等					

事業の概要	りんごやワインぶどうなどの園芸作物の生産拡大を図る。								
事業の目的	りんごやワインぶどうなど地域振興作物の作付面積拡大を図るため、農家の取組み支援や補助要綱に定める園芸に関する補助支援を行う。								
事業内容	地域振興作物の生産振興を図るため、共同による機械導入に対する支援、また、果樹の新改植に要する経費を補助することにより、生産拡大を図っている。								
事業費	年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		
	総事業費（決算額）		2,818 千円		2,840 千円		2,306 千円		
	財源内訳	国庫支出金		千円		千円		千円	
		県支出金		千円		千円		千円	
		起債		千円		千円		千円	
		その他財源		千円		千円		千円	
		一般財源		2,818 千円		2,840 千円		2,306 千円	
活動指標	指標名		単位	平成23年度 実績値	平成24年度 実績値	平成25年度 実績値	目標値 H25	達成率 (%)	次年度目標値 (H26)
	①	りんごオーナーキャラバン	回	1	1	1	1	100.0%	1
	②								
	③								
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値	
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
	①	果樹新改植事業	a	70	88	60	90	66.7%	90
	②								
2. 数値で表せない効果		(指標)							
【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）									

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
	評価	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	点数	高い	高い	高い	一部重複	高い	適正である
		3	3	3	2	3	3
今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）					
	継続	園芸作物の振興は、転作作物であるそば・麦・大豆等とあわせて市の農業振興施策の重要な柱となっている。長野県の特産品となっているりんごにはじまり、ワインぶどう、ブルーベリー、アスパラガス等市の奨励品としても振興しており、今後、面積拡大や団地化等を念頭に取り組み、地域の特産品として生産拡大を図っていく。					
	評価点合計	17 / 18					

事務事業評価表

担当課	産業観光部	農林水産課	庶務・林業振興係	事務事業No.	161311
事務事業名	有害鳥獣対策事業			会計	一般会計
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち			款	6 項 1 目 3
施策目標	農地集約化と特色ある農業への転換				
後期計画掲載頁	59	頁	個別計画	鳥獣対策の推進	59 頁
事業期間	平成24年	～	平成28年	根拠法令・要綱等 鳥獣の保護及び管理に関する法律	

事業の概要	野生鳥獣による農作物被害防止対策								
事業の目的	熊、猿、鹿、猪、カラス等の鳥獣被害の防止								
事業内容	○野生鳥獣の追い払い、侵入防止柵設置、緩衝帯の整備等による対策強化 ○県特定鳥獣保護管理計画等に基づく個体数調整 ○モンキーダッグの育成 ○侵入防止柵設置や追い払い指導のための鳥獣被害対策リーダーの育成								
事業費	年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		
	総事業費（決算額）		17,994 千円		13,868 千円		9,329 千円		
	財源内訳	国庫支出金		3,676 千円		4,101 千円		209 千円	
		県支出金		千円		100 千円		100 千円	
		起債		千円		千円		千円	
		その他財源		千円		千円		千円	
		一般財源		14,318 千円		9,667 千円		9,020 千円	
活動指標	指標名		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値	
			実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)	
	①	有害鳥獣駆除委託（猟友会）	支部	6	6	6	6	100.0%	6
	②	農作物被害額調査実施	〃	1	1	1	1	100.0%	1
③	侵入防止柵設置補助金	千円	2,108	1,675	1,805	2,000	90.3%	2,800	
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値	
			実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)	
	①	有害鳥獣駆除数	頭、匹、羽	511	534	637	2,840	22.4%	2,850
	②	農作物被害額	千円	43,988	38,461	16,137	15,000	107.6%	13,000
	③	侵入防止柵設置距離	m	3,418	1,829	1,789	2,000	89.5%	2,000
	2. 数値で表せない効果		(指標)						
	【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）								

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
	評価	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	点数	高い	高い	高い	一部重複	普通	適正である
		3	3	3	2	2	3
今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）					
	拡大	市単補助事業の他、大町市有害鳥獣被害防止対策協議会、大北有害鳥獣被害防止対策協議会が事業主体となり、国の交付金事業を活用した侵入防止柵の設置が平成23年度から始まり、毎年1.6km程設置している。このため、農作物被害額は減少傾向にある。今後も、侵入防止柵の設置を推進し農業被害軽減に努める。一方、有害鳥獣駆除・個体数調整を委託している市内6支部の猟友会員たちの高齢化は進んでおり、新規銃猟免許取得者への補助も行っているが、毎年10名前後で推移している。今後も啓発に努め、若い世代の隆（有）会員確保を行う必要がある。					
	評価点合計	16 / 18					

事務事業評価表

担当課	産業観光部	農林水産課	庶務・林業振興係	事務事業No.	16141				
事務事業名	畜産振興事業			会計	一般会計				
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち			款	6	項	1	目	4
施策目標	農地集約化と特色ある農業への転換								
後期計画掲載頁	58	頁	個別計画	畜産の振興	58	頁			
事業期間	平成24年	～	平成28年	根拠法令・要綱等					

事業の概要	牛、豚、鶏の生産農家の連携と飼育環境向上によるブランド化の推進								
事業の目的	畜産の振興								
事業内容	<p>○鹿島槍黒沢高原管理運営業務 乳牛の放牧事業を安全かつ円滑に行うため、鹿島槍スキー場グレンデの一部を土地使用貸借契約により、大町市が牧場要地として借り受け、5月～10月の期間公共牧場として使用。管理運営を大町市酪農組合に委託している。</p> <p>○酪農家の労力軽減及び良質な乳用牛を育成するため、期間放牧、衛生検査等を実施。</p> <p>○夏場の観光客滞留に貢献。</p>								
事業費	年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		
	総事業費（決算額）		3,000 千円		3,000 千円		3,000 千円		
	財源内訳	国庫支出金		千円		千円		千円	
		県支出金		千円		千円		千円	
		起債		千円		千円		千円	
		その他財源		千円		千円		千円	
		一般財源		3,000 千円		3,000 千円		3,000 千円	
活動指標	指標名		単位	平成23年度 実績値	平成24年度 実績値	平成25年度 実績値	目標値 H25	達成率 (%)	次年度目標値 (H26)
	①	牧場放牧期間	日	129	115	126	130	96.9%	130
	②	衛生検査	回	3	3	3	3	100.0%	3
	③								
成果指標	1. 数値で表せる指標		単位	平成23年度 実績値	平成24年度 実績値	平成25年度 実績値	目標値 H25	達成率 (%)	次年度目標値 (H26)
	指標名								
	①	牧場放牧頭数	頭	32	29	22	25	88.0%	25
	②	衛生検査頭数	//	32	29	22	25	88.0%	25
	2. 数値で表せない効果		(指標)						
【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）									

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	普通	普通	重複なし	普通	適正である
点数	3	2	2	3	2	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）					
	今後の方向性	現状継続	酪農を取り巻く環境は、飼料、燃料の高騰により年々厳しくなっており、酪農組合のうち1件が平成24年末に廃業した。このような状況の中、公共牧場開設による放牧は、酪農家の負担軽減、良質な乳用牛を育成するためには必要な事業と考える。また、高原の牧場として観光面でも寄与している。				
	評価点合計	15	18				

事務事業評価表

担当課	産業観光部	農林水産課	庶務・林業振興係	事務事業No.	16142
事務事業名	水産振興事業			会計	一般会計
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち			款	6 項 1 目 4
施策目標	地域の特性を生かした林業・水産業の振興				
後期計画掲載頁	60	頁	個別計画	自然環境を活用した水産業の振興	61 頁
事業期間	平成24年	～	平成28年	根拠法令・要綱等	

事業の概要
市内3漁業協同組合と連携し、ブラックバス、ブルーギルなどの外来魚の駆除をすすめ、仁科三湖、農具川の本来の生態系を維持し、水産業の振興を図る。

事業の目的
内水面水産業の振興

事業内容
○ブラックバス等外来魚駆除活動及び対策の検討
○青木湖、木崎湖、北安中部漁協に対し、ブラックバス捕獲に対して手数料支払い
○青木湖漁協に対し、ブルーギル捕獲手数料
○大北漁連主催のブラックバス釣り大会に負担金

事業費	財源内訳	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		総事業費（決算額）	1,024 千円	1,016 千円	1,012 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円	
	県支出金	千円	千円	千円	
	起債	千円	千円	千円	
	その他財源	千円	千円	千円	
	一般財源	1,024 千円	1,016 千円	1,012 千円	

活動指標	指標名	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
			実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
①	ブラックバス釣り大会開催	回	1	1	1	1	100.0%	1
②								
③								

成果指標	指標名	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
			実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
①	ブラックバス釣り大会参加者数	人	52	36	38	80	47.5%	80
②	ブラックバス釣り大会釣果	kg	16.4	25.4	24.8	30	82.7%	30
③								
2. 数値で表せない効果 (指標)								

【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
評価	普通	普通	普通	重複なし	普通	適正である
点数	2	2	2	3	2	3
評価	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）				
	今後の方向性	現状継続				
	評価点合計	14 / 18 外来魚の駆除は、全国の湖沼で課題となっている問題である。事業の継続は必要と考えられる。				

事務事業評価表

担当課	産業観光部	農林水産課	農業振興係	事務事業No.	16151		
事務事業名	たかね市民農園管理費			会計	一般会計		
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち			款	6	項	1
施策目標	農地集約化と特色ある農業の転換						
後期計画掲載頁	58	頁	個別計画				頁
事業期間	平成	年	～	平成	年	根拠法令・要綱等 大町市民農園設置及び管理に関する条例	

事業の概要
 特定農地貸付け法による市民農園の開園及び貸付け業務。借り手のない区画については、雑草等の借り手の妨げにもなるため、草刈り等の農地維持管理業務。

事業の目的
 小面積の農地を利用して野菜や花を育て、畑作物の栽培体験をし、生きがいつくりや体験学習の活動を通して、潤いのある農園づくりを目指す。

事業内容
 借受けた農地（6,597㎡）を希望者に貸付ける。81区画3,869㎡。これとは別に教育ファーム事業農地約400㎡。教育ファーム事業「たのしい野菜作り教室」の開催（全14回）。

事業費	財源内訳	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		総事業費（決算額）	288千円	287千円	350千円
	国庫支出金	千円	千円	千円	
	県支出金	千円	千円	千円	
	起債	千円	千円	千円	
	その他財源	千円	千円	千円	
	一般財源	288千円	287千円	350千円	

活動指標	指標名	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
			実績値	実績値	実績値	(H25)	(%)	(H26)
①	野菜作り教室開催	回	14	14	14	14	100.0%	14
②	野菜作り教室参加者	世帯	25	23	28	28	100.0%	28
③								

成果指標	指標名	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
			実績値	実績値	実績値	(H25)	(%)	(H26)
①	貸付け区画数	区画	80	77	81	81	100.0%	85
②								
③								
2. 数値で表せない効果 (指標)								

【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
評価	普通	普通	高い	重複なし	高い	適正である
点数	2	2	3	3	3	3
評価	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）				
	今後の方向性	継続 評価点合計 16 / 18 空き区画が何区画かあるが、市民の要望と現況の市民農園の規模はおおむね合っていると考えている。よって現状維持して継続したい。				

事務事業評価表

担当課	産業観光部	農林水産課	庶務・林業振興係	事務事業No.	16312
事務事業名	林業振興一般経費			会計	一般会計
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち			款	6 項 3 目 1
施策目標	地域の特性を生かした林業・水産業の振興				
後期計画登載頁	60 頁	個別計画	森林・林業とのふれあい		60 頁
事業期間	平成24年	～	平成28年	根拠法令・要綱等	

事業の概要	みどりとのふれあい促進、緑教育の推進及び木質バイオマスエネルギー推進の為にペレットストーブ、ボイラーに対する助成を行う。								
事業の目的	自然の役割、森林を守り育てる必要性などを学ぶ「みどりの教育」の推進による郷土愛の育成を図る。木質バイオマスエネルギーの推進。								
事業内容	○植樹祭、育樹祭、森林体験を通じた森林やみどりとのふれあいの促進 ○みどりの少年団活動の森林体験事業（植樹祭、育樹祭等）への応援 ○植樹祭、育樹祭地の保育（下刈り等）の実施 ○姉妹都市立川市の森林保全隊への協力 ○ペレットストーブ、ボイラーへの購入補助。（1台10万円を限度）								
事業費	年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		
	総事業費（決算額）		900 千円		894 千円		900 千円		
	財源内訳	国庫支出金		400 千円		100 千円		100 千円	
		県支出金		千円		千円		千円	
		起債		千円		千円		千円	
		その他財源		千円		千円		千円	
一般財源		500 千円		794 千円		800 千円			
活動指標	指標名		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値	
	① ペレットストーブへの補助金交付		4	1	1	2	50.0%	2	
	②								
	③								
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値	
	指標名		実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)	
	① みどりの少年団の植樹祭等への参加		2	2	2	2	100.0%	2	
	②								
	③								
	2. 数値で表せない効果 (指標)								
【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）									

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	普通	普通	普通	重複なし	普通	適正である
	点数	2	2	2	3	2	3
今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）					
	現状継続						
	評価点合計	みどり・森林と触れ合う機会の少ない子供たちに、植樹祭等を通じてのふれあいは必要なことであり、継続が適切と考える。					
	14 / 18						

事務事業評価表

担当課	産業観光部	農林水産課	庶務・林業係	事務事業No.	16313
事務事業名	市有林管理育成事業			会計	一般会計
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち			款	6 項 3 目 1
施策目標	地域の特性を生かした林業・水産業の振興				
後期計画掲載頁	60	頁	個別計画	豊かで多様な森林の育成	60 頁
事業期間	平成24年	～	平成28年	根拠法令・要綱等	

事業の概要	公共の財産である市有林について、下刈り、除間伐等適切な保育を実施する。								
事業の目的	市有林の健全育成のため								
事業内容	公共の財産である市有林について、下刈り、除間伐等適切な保育を実施する。								
事業費	年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		
	総事業費（決算額）		667 千円		128 千円		1,341 千円		
	財源内訳	国庫支出金		千円		千円		千円	
		県支出金		千円		千円		千円	
		起債		千円		千円		千円	
		その他財源		千円		千円		1,288 千円	
		一般財源		667 千円		128 千円		53 千円	
活動指標	指標名		単位	平成23年度 実績値	平成24年度 実績値	平成25年度 実績値	目標値 H25	達成率 (%)	次年度目標値 (H26)
	①	森林総合研究所分（マムシ平）	ha	2	-	5	5	100.0%	5
	②	その他市有林	ha	0.2	0.5	0.5	-	-	3
	③								
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値	
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
	①	下刈り等保育実施面積	ha	2.2	0.5	5	5	100.0%	8
	②								
2. 数値で表せない効果		(指標)							
【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）									

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
	評価	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	点数	普通	普通	普通	重複なし	普通	適正である
		2	2	2	3	2	3
今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）					
	現状継続	市有林の健全育成のため必要な事業であるが、森林総合研究所と分収契約をしているマムシ平以外の市有林整備については、市単費で行うため、より適期、適正な事業推進を図る。					
	評価点合計						
	14 / 18						

事務事業評価表

担当課	産業観光部	農林水産課	庶務・林業振興係	事務事業No.	16315
事務事業名	森林整備地域活動助成事業			会計	一般会計
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち			款	6 項 3 目 1
施策目標	地域の特性を生かした林業・水産業の振興				
後期計画掲載頁	60	頁	個別計画	豊かで多様な森林の育成	60 頁
事業期間	平成 24 年	～	平成 28 年	根拠法令・要綱等	

事業の概要	森林整備地域活動支援事業								
事業の目的	地域でまとまり森林整備協議会を立ち上げ、林業事業体と契約し森林整備を進めたものに対する助成。								
事業内容	森林経営計画策定、施業の集約化、作業路網の整備に対して補助金を交付する。（国補助3/4）								
事業費	年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		
	総事業費（決算額）		14,618 千円		16,193 千円		16,717 千円		
	財源内訳	国庫支出金		10,963 千円		12,415 千円		12,538 千円	
		県支出金		千円		千円		千円	
		起債		千円		千円		千円	
		その他財源		千円		千円		千円	
		一般財源		3,655 千円		3,778 千円		4,179 千円	
活動指標	指標名		単位	平成23年度 実績値	平成24年度 実績値	平成25年度 実績値	目標値 H25	達成率 (%)	次年度目標値 (H26)
	①	森林経営計画作成	ha	-	163	246	165	149.1%	230
	②	施業集約化促進	ha	390	190	245	200	122.5%	200
	③	作業路網の改良	ha	455	1810	-	-	-	-
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値	
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
	①	集約化による事業の推進	団地	24	24	15	24	62.5%	24
	②								
2. 数値で表せない効果		(指標)							
【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）									

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
	評価	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	点数	高い	高い	普通	重複なし	普通	適正である
		3	3	2	3	2	3
今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）					
	現状継続	木材価格の長期低迷、安価な外材の輸入等、所有者の森林整備に対する意欲は低下している。森林の荒廃は、森林が持つ多種多様な機能の低下につながることも、農作物被害をもたらす有害鳥獣の棲家となる恐れがある。現在の国補助要綱では、大きな面積を集約し（一つの林班単位）団地化する必要がある。不在地主の増加等で森林所有者全員の承諾を得るのが困難な場合もあり、立ち上げる協議会の負担となっている。					
	評価点合計	16 / 18					

事務事業評価表

担当課	産業観光部	農林水産課	庶務・林業振興係	事務事業No.	16316
事務事業名	松林健全化推進事業			会計	一般会計
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち			款	6 項 目
施策目標	地域の特性を生かした林業・水産業の振興				
後期計画掲載頁	60 頁	個別計画	豊かで多様な森林の育成		60 頁
事業期間	平成 24 年	～	平成 28 年	根拠法令・要綱等	

事業の概要	松くい虫被害木の伐倒・くん蒸処理等の適正処理を行う。								
事業の目的	松くい虫の被害拡大防止のため、パトロール、枯損木の速やかな適正処理								
事業内容	松くい虫の被害拡大防止のため、パトロール、枯損木の速やかな適正処理								
事業費	年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		
	総事業費（決算額）		7,651 千円		5,768 千円		14,490 千円		
	財源内訳	国庫支出金		4,368 千円		3,280 千円		8,019 千円	
		県支出金		千円		千円		千円	
		起債		千円		千円		千円	
		その他財源		千円		千円		千円	
		一般財源		3,283 千円		2,488 千円		6,471 千円	
活動指標	指標名		単位	平成23年度 実績値	平成24年度 実績値	平成25年度 実績値	目標値 H25	達成率 (%)	次年度目標値 (H26)
	①	伐倒処理	m ³	250	250	530	250	212.0%	600
	②	空中散布	ha	7	3	3	3	100.0%	3
	③						-	-	
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値	
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
	①	アカマツ伐倒駆除	m ³	250	250	420	500	84.0%	790
	②						-	-	
2. 数値で表せない効果		(指標)							
【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）									

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
	評価	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	点数	高い	高い	高い	重複なし	普通	適正である
		3	3	3	3	2	3
今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）					
	評価点合計	<p>拡大</p> <p>17 / 18</p> <p>当市では、社、八坂地区が被害地域に指定され、全量駆除を目標に事業を実施しているが、市に隣接する地域の駆除が進んでいないこともあり、毎年低下することなく発生している。また、近年は常盤地区でも90m³ほどの松くい虫被害が確認されており、常盤地区について駆除、被害防止方策を早急に検討する必要がある。</p>					

事務事業評価表

担当課	産業観光部	農林水産課	庶務・林業振興係	事務事業No.	16317
事務事業名	治山事業			会計	一般会計
まちのテーマ	安心・安全なまち			款	6 項 3 目 1
施策目標	市民生活の安全確保と危機管理体制の強化				
後期計画掲載頁	82	頁	個別計画	災害に強いまちづくりの推進	82 頁
事業期間	平成24年	～	平成28年	根拠法令・要綱等	

事業の概要	関係機関との連携による危険個所の把握と、治山事業の推進。								
事業の目的	国公共治山事業、県単治山事業個所の要望と、小規模な治山関連工事を行い、土砂災害防止を図る。								
事業内容	小規模な治山関連修繕工事								
事業費	年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		
	総事業費（決算額）		754 千円		646 千円		982 千円		
	財源内訳	国庫支出金		千円		千円		千円	
		県支出金		千円		千円		千円	
		起債		千円		千円		千円	
		その他財源		千円		千円		千円	
		一般財源		754 千円		646 千円		982 千円	
活動指標	指標名		単位	平成23年度 実績値	平成24年度 実績値	平成25年度 実績値	目標値 H25	達成率 (%)	次年度目標値 (H26)
	①	小規模修繕箇所調査	回	1	1	1	1	100.0%	1
	②						-	-	
	③						-	-	
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値	
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
	①	修繕工事実施箇所数	箇所	3	2	2	3	66.7%	3
	②						-	-	
	③						-	-	
2. 数値で表せない効果		(指標)							
【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）									

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
	評価	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	点数	普通	高い	普通	重複なし	高い	適正である
		2	3	2	3	3	3
今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）					
	現状継続	国、県の治山工事には取り上げられない小規模な修繕工事は、関係する市民の安全を守るためにも必要と考える。					
	評価点合計						